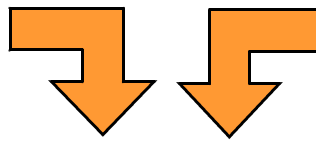


天城町立岡前小学校 公開研究会

令和2年2月13日(木)公開

I 研究の概要

子どもの実態
・自分の言葉で表現する力が弱い。 ・「書く能力」「聞く能力」に課題がある。 ・語彙力が乏しい。 ・意欲、積極性の低い。



教育の動向等から
・「主体的・対話的で深い学び」 ・思いや考えを伝え合う力の向上 ・大島の教育授業充実の3ポイント ・天城町授業づくりの目



研究主題

自分の考えをもち、生き生きと表現する子どもの育成
～伝え合う力を育てる国語科の授業づくり～

目指す子ども像

課題に対して自分の考えを理由までしっかりともち、相手に伝えたいという意欲に加え、伝え合うための技術、態度を身に付け、進んで伝え合う子ども

【低学年】	【中学年】	【高学年】
言葉を発する楽しさを身に付けた子ども → 受容的に聞き合う力を育てる	言葉をつなぐ楽しさを身に付けた子ども → 比較し合う力を育てる	言葉で見方を広げ深める楽しさを身に付けた子ども → 論じ合う力を育てる

仮説1
自分の考えをしっかりともつことができるようになることで、生き生きと表現する子どもを育成できるのではないか。
視点1
自分の考えをもつことができるようになるための手立て
内容
1 自分の考えを書くための時間の確保 2 自分の考えをもつことができない子どもへの支援



仮説2
伝え合う活動を位置付け、系統的に伝え合い方を身に付けさせれば、生き生きと表現する子どもを育成できるのではないか。
視点2
伝え合う活動の設定・技能や態度の育成の手立て
内容
1 伝え合う力の系統性の明確化と位置付け 2 1単位時間の進め方 3 「話し合いマニュアル」, 「つなぐ言葉カード」の活用 4 自己評価



仮説3
言語環境を整備し、発表の場を確保すれば、生き生きと表現する子どもを育成できるのではないか。
視点3
言語環境の整備・表現する場の確保(国語科の授業以外の取組)
内容
1 語彙を豊かにするための手立て 2 表現する場の設定



II 研究授業及び全体会・分科会の様子



全体会 I



1年生研究授業



3年生研究授業



5年生研究授業



全体会 II



1年生分科会



3年生分科会



5年生分科会

公開研究会に参加された先生方より

- 自分の考えを書くという一番大切なことを丁寧に考え、たくさんの手立てがなされていた。
- 子どもたちに力を付けるために、とてもきめ細やかな計画や手立てを準備していることが感じられた。
- 話し合いのマニュアルや振り返りシートの活用が参考になった。また、教室や校舎内の掲示、関連図書、今日のことわざ等、言語環境がとても充実していた。
- 子どもたちが話し合いのとき、よく相手の考えを聞こうとしている姿が見られた。また、友達の意見に対しても何か伝えようとする姿も見られてよかった。

